

○ 福島県下 12 市町村に納税地を有する方の「贈与税の申告書の作成に当たっての留意事項」

福島県下 12 市町村に納税地を有する方^{※1}については、申告・納付等の期限延長措置の終了により、複数年分の申告・納付等を行わなければならないこと等を考慮して、1 年間の手続期間を設けることとし、平成 27 年 3 月 31 日までに申告・納付等の手続をお願いしています。

申告・納付等の期限を平成 27 年 3 月 31 日とするためには、納税者の方からの申請が必要となります。

この申請は、原則として「災害による申告、納付等の期限延長申請書」により行っていただくこととなりますが、申告等を行う際に申告書等に延長の申請を行う旨を付記していただければ、当該申請書の提出があったものとして取り扱うこととしています。

また、納税地以外の場所に避難している方については、申告書の「住所」欄等には、被災時の住所地（納税地）等を記載してください^{※2}。

なお、申告書を提出いただいた後に、税務署から連絡させていただく場合がありますので、申告書の「住所」欄等には、被災時の住所等に加え、避難先の居所等も併せて記載してください。

つきましては、申告書の作成に当たっては、以下の記載方法等をご参照いただくようお願いします。

※1 福島県下 12 市町村以外の地域へ住民票を異動した方は、原則として、当該異動先の住所地が納税地となりますが、やむを得ない理由により、便宜的に住民票を異動した方は、引き続き、福島県下 12 市町村が納税地となる場合があります。詳しくは、最寄りの税務署へお問い合わせください。

※2 避難先の居所等のみを記載した場合、申告・納付等の期限の延長が適用されないものとして取り扱われる可能性がありますのでご注意ください。

1 申告書を書面で作成する場合の記載方法

- ① 申告書の右上の余白に「平成 27 年 3 月 31 日まで期限延長を申請」と記載してください。
- ② 納税地以外の場所に避難されている場合、「住所」欄に、被災時の住所地（納税地）、電話番号等を記載するとともに、避難先の居所及び電話番号等を「(避難先)」として二段書きで記載してください。

【記載例】

平成 27 年 3 月 31 日まで期限延長を申請

税務署長 平成 年分贈与税の申告書 FD 4 7 2 3

平成 年 月 日提出

税務署 受付印	住所	〒979-XXXX (電話 XXX - XXXX - XXXX) 南相馬市○○○×-× (避難先) (電話 XXX-XXXX-XXXX) 〒XXX-XXX ○○市△△町XX-X	税務署整理欄 (記入しないでください。)			
	フリガナ	※フリガナは、必ず記入してください。	整理番号	<input type="text"/>	名簿	<input type="text"/>
	氏名	印	申告書提出年月日	<input type="text"/>	財産	<input type="text"/>
	生年月日	<input type="text"/>	災害等延長期限	<input type="text"/>	細目	<input type="text"/>
	職業		出国年月日	<input type="text"/>	コード	<input type="text"/>
			死亡年月日	<input type="text"/>	関与区分	<input type="text"/>
					訂正	<input type="text"/>
					修正	<input type="text"/>

第一表 (平成 22 年分以降)

2 国税庁HPの「確定申告書等作成コーナー」を利用する場合の入力方法

① 「確定申告書等作成コーナー」を利用して e-Tax で申告書を提出される場合 (e-Tax での提出は、平成 24 年分以降について対応しています。)

イ 納税地以外の場所に避難されている場合、「生年月日等の入力」画面^{※3}には、被災時の郵便番号及び住所地 (納税地) 等を入力し、「送信準備 (送信方法の選択等)」画面^{※4}の「その他参考事項」欄には、上段に「避難先」と入力の上、下段に避難先の郵便番号及び居所を入力してください。

ロ 「送信準備 (送信方法の選択等)」画面^{※4}の「東日本大震災に係る災害等による申告・納税等の期限の延長」欄のチェックボックスにチェックをしてください。チェックしていただければ、申請書の提出があったものとして取り扱います。

② 「確定申告書等作成コーナー」を利用して書面で申告書を提出される場合

イ 上記 1 ①と同様に、出力した申告書の右上余白に「平成 27 年 3 月 31 日まで期限延長を申請」と記載してください。

ロ 納税地以外の場所に避難されている場合、「生年月日等の入力」画面^{※3}には、被災時の郵便番号及び住所地 (納税地) 等を入力し、出力した申告書の「住所」欄の余白に、避難先の居所及び電話番号等を「(避難先)」として記載してください。

なお、余白が足りない場合は、申告書の左上余白に避難先の居所及び電話番号等を「(避難先)」として記載してください。

【※3 入力例】

生年月日等の入力	
あなた(申告を取得した方)の生年月日、住所、氏名等を入力してください。	
住所、氏名等	
※ 所得税等で納税地の届出をされている方は、こちらをご参照ください。	
1 郵便番号 ※ 「住所検索」ボタンをクリックすると、入力した郵便番号から確認できる住所、都道府県名及び税務署名が自動的に入力されます。	[半角数字3桁] - [半角数字4桁] 979 - XXXX <input type="button" value="住所検索"/>
2 住所 【必須】 ※ 郵便番号から検索できなかった方は、「市区町村選択」ボタンをクリックして都道府県市区町村を選択してください。	都道府県市区町村 福島県南相馬市 <input type="button" value="市区町村選択"/> 〇〇〇△-△ [都道府県市区町村と合計で全角28文字以内(数字等も全角)] (例) 〇〇町1-1-1 [全角28文字以内(数字等も全角)] (例) アパート名、号室
3 申告書等を提出する税務署名 【必須】 税務署の所在地及び管轄区域	都道府県: <input type="text" value="福島県"/> 税務署名: <input type="text" value="相馬"/> 税務署

被災時の郵便番号及び住所地 (納税地) を入力してください。

